

# 第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/25】

## 男子Bリーグ戦

山口県選抜

6

1	—	1
1	—	2
1	—	0
3	—	1

4

三重県選抜

PSO

潮崎 正一

審判：

塚本 龍一

## この試合のプレー集計

山口県選抜	19	SH数	15	三重県選抜
	3	速攻数	0	
	7	ST・SB	6	
	3	SH・P誘発アシスト	3	
	50%	GK阻止率	33%	
5	EX反則数	3		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

## 【試合の流れ】

両チームともにこの世代ではレベルの高い水球を展開するので、拮抗した好ゲームが期待できる一戦。おそらくクロスコナなゲーム展開となることが予想される。

### 【1P】

試合開始から積極的に泳ぐ山口が退水を誘発し、⑨長尾が決めて先制点をマーク。山口のカバーリングは早く、自陣ゴール前を人数で固め、三重側にチャンスを与えない。三重は遠目シュート選択しかない状況のゲーム序盤。しかし、山口の攻撃を凌いだ三重が退水を誘発して同点に追いついて第1ピリオド終了(山口1-1三重)。双方、しっかり守ってからの攻撃という展開で、この世代としてはレベルの高い内容の序盤となった。

### 【2P】

ピリオド開始後、三重が⑤森下の6mSHで追加点をあげる。山口はよく守ってカウンター攻撃に出て、有的有利、さらには退水を誘発してチャンスをつかむが、三重もしっかり守ってゴールを死守。そして山口のシュートを防いでから退水を誘発して、④山本が加点。何とかしたい山口は失点後に⑦濱川が左サイドから決めて1点を返して第2ピリオド終了。山口は中盤の泳ぎのスピードはあるが、ゴールが近づくとややダウンして三重側に守れる余裕を与えている状況を改善できるか。山口2-3三重と競った展開で勝負は後半戦に。

### 【3P】

センターボールからの攻撃で山口が⑩長野の6mSHで同点に追いつく。その後は、両者全く互角の攻防が続く、長いラリーとなった。さすがにピリオド終盤は双方泳ぎ疲れた状態となり、どちらかという”専守防衛”の安全策という選択に。山口3-3三重の同点で、最終ピリオドへ。

### 【4P】

三重の攻撃をブロックし、オーバータイムとなった間隙を突いて、シュート力のある山口⑩長野がミドルレンジから突き刺すようなシュートで、長い均衡を山口が破ってリードを奪った。しかし三重もゴール前で退水を誘発すると勝負のタイムアウト。ここで左サイドからGKを見透かすループシュートを⑨山内が決めて同点に。山口は三重側のオフense反則からセンターでペナルティを誘発。そのシュートは三重GK①道上がファインセーブ。その後のコーナースローから粘って⑦濱川が決めて1点リード。総攻撃で反撃する三重だったが、攻撃ミスから山口にブザービートSHの追加点を決められて、山口6-4三重で試合終了。

勝負の分かれ目は第4ピリオドの三重側の攻撃が手詰まりになったオーバータイム。以前から三重のオーバータイムは失点に直結する傾向があった。攻撃権の時間切れは、守備側が思い切って前に出やすくなることから、切り替えが遅れてしまって失点に至るケースがジュニア世代では多く見受けられる。1点を争う場面では勝敗に直結しやすいだけに、攻撃の意識から守備への切り替えは大事にもらいたい。